

町会報

えひめ

2016

9

Vol.90

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



Contents

四国四県町村長・議長大会	2～4
町の伝統行事	5～6
新町長紹介	7
一筆／9月の行事／編集後記	7
全国町村議会議員団体医療保険のお知らせ	8

愛南町「トレッキング・ザ・空海あいなん」

11月中旬に2日間にわたって開催され、毎年、大勢の参加者が晩秋のへんろ道ウォークを楽しみます。初日は、宿毛市から御荘地域の第40番札所観自在寺までの21.5km、2日目は内海地域から宇和島市へと続く13kmを歩きます。トレッキング終了後に行われる俳人、夏井いつきさんの句会ライブも好評を博しています。

四国四県町村会と同町村議会議長会は、9月29日(木)午後2時から松山全日空ホテルで「四国四県町村長・議長大会」を本県当番により開催した。

これは四県の連携をより強化するための大会で、四国四県57町村から町村長及び議長ら約160人が出席し、盛大に開催された。

四国四県町村長・議長大会を開催

四国四県町村会・町村議会議長会



大会は、原本県町村議会議長会長の開会のことばののち、上村本県町村会長のあいさつがあった後、別掲の「宣言」を決定した。次いで来賓の知事（原副知事代理出席）、赤松県議会議長、藤原全国町村会長及び飯田全国町村議会議長会長の各来賓から懇篤な祝辞があった後に協議に入った。

まず、森口香川県町村議会議長会長を議長に選出した後に提出議題の審議に入り、甲岡鬼北町長が説明した「地方創生の推進及び一億総活躍社会の実現に向けて」や「南海トラフ地震対策等、防災・減災対策の充実強化について」、「四国地方の交通基盤等の整備促進について」、「農林水産業・地域の活力創造について」の4議案を、また、別掲の決議と特別決議、さらに「四国八十八箇所霊場と遍路道の世界遺産登録について」の共同アピールを本県の清水愛南町長が説明し、いずれも満場一致で決定し国の関係省庁や国會議員へ提出することとし、大会の幕を閉じた。

引き続き記念講演に移り、四国の持つ魅力やポテンシャルを広く全国に発信しようとして、伊予鉄道株式会社の清水一郎社長から「四国の観光戦略について」と題し、また、中村時広愛媛県知事から「サイクリングアイランド四国を目指して」と題して、それぞれ講演があり、これを聴講した。

なお、議事終了後に出席者全員による意見交換会が盛大に開催され、出席者の交流が図られた。



あいさつを述べる上村本県町村会会長



開会のことばを述べる原本県議会議長会

宣 言

本格的な人口減少社会が到来し、現在の合計特殊出生率が続けば人口は減り続け、地域活力が失われるとともに、近い将来、我が国は衰退する恐れがある。既に地方においては、急速な少子・高齢化の進展、大都市圏への人口流出により、地域活力が衰えつつある。

この困難な状況を打破し、明るく希望に満ちた未来を切り拓いていくために我々町村にできることは、それぞれの地域が持つ多種多様な自然、そこに暮らす人の営み、そこから生まれた風習や伝統文化を大切にしながら、新たな価値を生み出し魅力ある地方を創生していくことである。

この四国には、四国八十八箇所霊場をはじめ世界に誇れる独自の歴史・文化が根づいているほか、西日本で最高峰の石鎚山など数多くの美しく豊かな自然がある。しかも周囲を海に囲まれた四国は、北に多島美の瀬戸内海、西に美しいリアス式の宇和島、南に雄大な太平洋、東に潮流の早い鳴門海峡と、他の地域にない恵まれた立地条件にある。

こうした地域特性や資源を生かし、我々は、なんとしても、この流れに歯止めをかけなければならず、日本の創生につながる町村の各種取り組みに対して、政府に強力な支援を求めるものである。

我々、四国57町村長と議長は、人々がふるさとに誇りを持ち、今日より明日がより良い未来であることを実感できる地域社会を実現するため、持てる限りの英知と努力を傾注することを、ここに誓うものである。

以上、宣言する。

平成28年9月29日

四国四県町村長・議長大会

提 出 議 題	説 明 者
1 地方創生の推進及び一億総活躍社会の実現に向けて	愛媛県鬼北町長 甲岡 秀文
2 南海トラフ地震対策等、防災・減災対策の充実強化について	徳島県神山町議長 檜本 雄一
3 四国地方の交通基盤等の整備促進について	香川県宇多津町長 谷川 俊博
4 農林水産業・地域の活力創造について	高知県馬路村議長 五味 隆仁



提案説明する甲岡鬼北町長



「共同アピール」 清水愛南町長



清水一郎伊予鉄道株社長



中村時広愛媛県知事

「四国八十八箇所霊場と遍路道」に関する共同アピール

「四国八十八箇所霊場と遍路道」は、徳島県・高知県・愛媛県・香川県の四県をつなぐ、空海ゆかりの八十八箇所霊場をループ状に巡る全長1400kmの壮大な寺院巡拝である。

この巡拝は、古くから一般庶民に定着し、それを地域社会が「お接待」と呼ばれるおもてなしの心で支えている。

遍路の基となる「思想・信仰」、実践する「場」、さらにそれを支える「地域」の3者が一体となった「遍路文化」は、空海が四国霊場を開創したとされる西暦815年から、1200年の長きにわたり脈々と受け継がれてきた。

こうした「遍路文化」は、日本国内、さらには世界的に見ても、普遍的価値のあるもので、人類全体の遺産として次代に引き継いでいくべきであり、まさに、世界文化遺産にふさわしいものと考ええる。

この「四国八十八箇所霊場と遍路道」の特性である、八十八箇所霊場とそれを繋ぐ遍路道の全てが揃って個性ある価値を発揮することを踏まえ、国に対して長大なエリアに及ぶ生きた文化遺産として、保存・継承できるよう強く要望する。

また、平成27年には、地域活性化を図ることを目的とした「日本遺産」に「四国遍路」が認定され、さらに先月8日には、世界文化遺産登録を目指す四国四県や関係58市町村らが、登録の前提となる国内暫定リスト入りに向け、文化庁に対して構成資産の保護措置や普遍的価値の証明などを盛り込んだ提案書を提出したところである。

我々もまた、今後、「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向け、さらに関係者と緊密に連携しながら一層の機運の醸成に積極的に取り組むとともに、すべての人を温かく受け入れてきた本来の四国遍路の素晴らしさを幅広く周知するなど、一体となって取り組むことを強くアピールする。

平成28年9月29日

四国四県町村長・議長大会

決 議

- 1 地方創生を推進し、一億総活躍社会を実現すること
- 1 南海トラフ地震対策等、防災・減災対策の充実強化を図ること
- 1 四国地方の交通基盤等の整備促進すること
- 1 農林水産業の振興対策及び農山漁村の活性化対策を強化すること

以上決議する。

平成28年9月29日

四国四県町村長・議長大会



参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議

第24回参議院議員通常選挙は、憲政史上初めて合区で行われたが、地方の自立・活性化を図るために必要な、地方の意見を国政に反映させる機会と権利を失わせる結果となった。

とくに、投票率が全国的に横ばいの中、合区とされた「徳島県及び高知県」選挙区では両県とも全国で最も低いレベルの投票率となり、人口減少などから危機に瀕した地方の民意を国政に反映させるうえで、深刻な課題を残したと言わざるを得ない。

今回の選挙において、両県民の投票意欲を喪失させた主因は、「一票の格差」の是正のみを目指し、選挙区として都道府県単位で果たしてきた役割を無視した小手先の弥縫策として実施された「合区」の導入にあり、今後、「合区」の継続と拡大は、都市住民の意向が尊重される一方、地方住民の参政意欲を失わせることにつながりかねず、ひいては我が国の民主主義の根幹を揺るがす事態に陥るものである。

今一度、国会においては、我が国の民主主義における選挙区としての都道府県が果たしてきた役割を尊重した参議院選挙制度改革の議論を興し、参議院の選挙制度を地方の意見も国政に反映される仕組みとすべきである。

ついては、広範な国民世論を背景として、合区による選挙制度を見直し、法律のみならず憲法の改正も視野に入れて、都道府県単位による代表が国政に参加する仕組みを構築されるよう強く要望する。

以上決議する。

平成28年9月29日

四国四県町村長・議長大会

各町の伝統行事!

上島町

風土、文化に育まれた各町では、地域ごとに特色あるお祭りや、さまざまな伝統行事等が執り行われています。

このため本会では、各町の特色ある伝統行事等を訪問し合い、地域ならではの催しに触れたり、それぞれの歴史や伝統を肌で感じる機会を設けるために「各町の伝統行事」をまとめています。

そこで本号から「各町の伝統行事」を逐次、紹介していきます。

まず、上島町と久万高原町です。

いわぎ桜まつり

●場所／岩城島

●実施時期／4月3～10日

【概要】

岩城島の中央にそびえる積善山には、麓から山頂までの登山道沿いに3千本を超える桜が古くから植えられてきました。

山頂展望台からは、360度の大パノラマが広がり、天気の良い日には四国山脈や中国山脈、瀬戸内海の島々が一望できます。

そして、桜の開花時期に合わせ、毎年、桜まつりが盛大に開催されており、和太鼓演奏やフットコンテスト等、多彩な催しが行われ、町内外からの多くの人で賑います。



ふるさと夜市

●場所／弓削島（弓削港周辺）

●実施時期／8月上旬

【概要】

弓削港周辺を会場として行われる夏の一大イベント。

会場内には、町内各島から島自慢の地元特産品等を販売する露店が軒を連ね、特設ステージでは太鼓演奏や浴衣コンテスト、お楽しみ抽選会等の催しが行われます。

お祭りのフィナーレは弓削港内から打ち上げられる迫力満点の花火大会です。間近で見られると評判を呼び、帰省客だけでなく、この夜市に合わせて訪れる観光客も多く、年々盛り上がりを見せています。



秋祭り

●場所／弓削島各地区、佐島、生名島、岩城島、魚島

●実施時期／

10月1～2日頃（魚島）

8～9日頃（生名島、岩城島、佐島、土生）

15～17日頃（上弓削、久司浦）

14～16日頃（下弓削）

22～23日頃（引野、明神）

【概要】

10月は上島町のお祭り月間。毎週末どこかの地区でお祭りが行われ、島中祭り一色になります。

奴行列や獅子舞、担き比べ等、各島各地区ごとに特色があり見どころ満載です。



各町の伝統行事！

久万高原町

川瀬歌舞伎

- 場所／演技できる施設のある場所等
(久万高原町直瀬地区で活動)
- 実施時期／不定期で公演。依頼等により上演することもある。

【概要】

川瀬歌舞伎は、現在、県内で唯一残る農村歌舞伎であり、県の無形民俗文化財に指定されています。

明治期ごろから農閑期の娯楽として始まり、昭和36年、「川瀬歌舞伎保存会」が結成され、現在に至っています。

会員は、30歳代～80歳代に至る老若男女が在籍し、主に三つの演題を演じています。

公演は、地元公民館まつり、町文化協会発表会ほか町外においても依頼により行っています
が不定期です。

平成28年度については町文化協会発表会で公演予定です。



「石鎚山」お山開き

- 場所／久万高原町（土小屋付近）
- 実施時期／7月1日から10日

【概要】

「石鎚山」は日本七霊山の一つに数えられ、今から1300年ほど前に、役小角（えんのおづめ）が修験場として開山したとされる、石鎚連峰の中核を成す山です。

頂上に至る登山道は、鎖のかかる断崖となっていますが、毎年7月1日から10日間開催される「石鎚山お山開き大祭」には、全国各地から多くの参拝者などが集まり賑わいます。

この大祭は「石鎚神社頂上社」を中心に「中宮成就社」・「土小屋遙拝殿」・「口之宮本社」の四社において執り行われており、「仁」「智」「勇」の順に、3体のご神像を白装束の氏子らが担いで険しい山道を登ります。そして、山頂の「頂上社」に到着すると「ご神像拝戴」と呼ばれる神事を行い、1年間の無病息災を祈願します。

なお、石鎚山の女人禁制は、時代の趨勢により、現在は7月1日のみとなっています。



久万山御用木まつり

- 場所／久万高原町役場本庁及び商店
- 実施時期／8月第1土曜日

【概要】



松山城の築城にあたり、久万山からその用材を調達したという故事に基づき、林業後継者や商工業者が中心となって昭和59年から始められたまつりです。

本町駐車場から久万高原町役場までの商店街（約550m）を、約6mの丸太を担いで一気に走り抜けるタイムレースです。

参加者は衣装や演出も自由で、女性丸太レース・男性本命丸太等があります。



新町長紹介

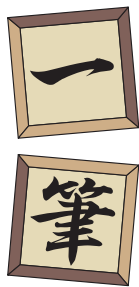
8月28日任期満了に伴う久万高原町長選挙が行われ、投票の結果、新人の河野忠康氏が当選された。

久万高原町長

河野 忠康氏



縮小した幸せな国



雨が降らず、水がめを心配させ、取水制限に陥っていた時が嘘のような首都圏をはじめ、秋雨前線と次々と襲来の台風による雨雲は列島を襲った。雨量は一時間に100mmを超過し、数日で軽く1か月分の大雨である。何処も「観測史上」の肩書きがつく凄まじい豪雨。息もできないような重い降雨。『水は貴重で必要不可欠なものであるが、過ぎたるは適当に...』願いたい。天の雨神様を恨めしく思わせた9月の集中豪雨であった。

さて、我が国の総人口に占める65歳以上の人口が、7%を占めて「高齢化社会」と称されたのは、今から46年前であった。14%を超し「高齢社会」となったのは平成6年である。平成19年には21%を超して「超高齢社会」となった。昨年の国勢調査（速報）では26.7%を占める。3461万人が65歳以上である（総務省人口推計）。

平均寿命は男性が80.79歳（世界第4位）、女性が87.05歳（香港に次いで世界第2位）。肝心な健康寿命は、男性が約71歳、女性が約74歳という。古今東西、特に名と財を成した人間が最後に追い求めた「不老長寿・不老不死」の薬は無し。今日も例外なく、人は順繰りに平等（早い・遅いの差があるのは現世の運命）に生命の幕引きをする中で、長寿は、慶ばしい。

一方、高齢者増加による医療、年金など社会保障費の対応は、将来に向けて極めて深刻である。生産年齢層の減少は厳しい、半世紀も前からこの高齢・少子化の流れは、社会現象として見込み想定内のはず。学者自認の諸氏は、問題点でなく解決にどんな「対応策」を研究、実現可能な「論文」を発表して来たのであろう。超高齢社会の我が国は、「人」の資源しかない世界第3位の経済国である。9月19日「敬老の日」を機に、老人を敬うことより高齢者を活（生）かすためへの路線に変更してみても如何。まず今後は、高齢者を65歳以上と線引（基準）称するのでなく70歳以上に変更。その5歳（年）分を希望者・就業時間・報酬を勘案した余剰労働力として、高齢者の生きがいにマッチさせた活用をする。高齢者の潜在

力を利用すべき時代は、高度な技術流出を防ぎ、豊富な経験を各分野で活かす。その対価として、年金、税金等にそれなりのプラスが生じる。ともかく我が国は、列島が地震等予測出来ない自然と共存し、狭い国土に在る。進行する超高齢社会と人口減少社会。他国からの労働力移民受け入れは、我が国民性から共住が難しい。『縮小されようとも』安全で平和な『幸せな国』となれば良であろう。

「私の人生の規則は、仕事を喜びたらしめ、喜びを私の仕事たらしめるということである」
(アーロン・バー 米国の政治家)

9月の会と催し

- ▽1日 愛媛県市町村総合事務組合職員採用試験受付開始
- ▽2日 県後期高齢者広域連合との打ち合せ
- ▽5日 内外情勢調査会松山支部懇談会、県・市町健康相談（巡回相談）
- ▽6日 中四国消防ブロック会事前打ち合わせ
- ▽7日 全国簡易水道協議会平成28年度第2回理事会並びに第1回事務局長会議、災害共済事務連絡会議
- ▽8日 全国町村会政務調査会行政委員会、全国町村会理事會・都道府県町村会長会
- ▽14日 過疎対策担当職員研修会（15日まで）、災害共済関係事業等加入推進及び火災予防運動等関係事務打合せ、第2回宝くじの活性化に係る意見交換会
- ▽23日 オータムジャンボ宝くじ販

売促進PR活動

- ▽27日 社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会第206回理事会
- ▽28日 平成27年度四国四県町村長・議長大会運営協議会・同大会

編集後記

四国四県町村長・議長大会が、今年には本県当番により松山市で開催されました。

この大会は、四国のすべての町村長と議長が一堂に集まる全国で唯一の大会であり、各県持ち回りで開催し、今回で六回目を迎えました。町村長、議長それぞれ役割は違いますが、各町村の振興発展を目指すという目標は同じです。議事では、これからの四国の未来に思いを馳せた諸案件について熱心な協議を重ねられました。本大会を通じて、四国の町村長、議長が、強い絆で結ばれたこと、また、なんと大過なく大会を終えたことを当番県として、とても嬉しく思っています。

大会では、「四国八十八箇所霊場と遍路道」に関する共同アピールのほか「参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議」を行いました。

難しいことは分かりませんが、そもそも「一票の格差」とはなんでしょう。国連を見て下さい。人口が多い国も少ない国も同じ一票です。これをどう考えるのか。誰か教えてくれませんか。

これからは都会の人口は増え、地方の農村は減り続けるでしょう。人口の比率のみで定数を配分していくことが果たして正しいことなのか。それで国全体が豊かに発展していくのでしょいか。大きな疑問と心配を覚えます。

全国町村 議会議員 団体医療保険

新・団体医療保険(医療保険基本特約・疾病保険特約セット団体総合保険)

【保険期間】 平成29年1月1日午後4時から1年間

「病気」を補償し、ご安心をお届けする制度です。



安心の団体医療保険 5つの特長

1

「病気」を補償します！

- 病気による入院・手術を補償します。三大疾病(がん・急性心筋こうそく・脳卒中)となった場合の補償もセットできます。
- 病気による入院は、日帰り入院から補償します(注1)。
- また、1回の入院につき120日限度、通算1,000日まで補償します。

4

お手続きは簡単です！

- ご加入の際、医師の診査は不要です。簡単な告知で加入できます(注2)。
- 保険期間は1年間です。以降1年ごとに自動継続となりますので、お手間が掛かりません(注3)。

2

団体割引30%の、割安な保険料です！

ご加入年齢 満60歳～満64歳の場合(A型にご加入いただいた場合)

疾病入院保険金 1日につき	重大手術の場合 入院保険金日額の40倍	23,070円
5,000円	重大手術以外の場合 入院中の手術：入院保険金日額の20倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍	

(保険期間1年、年払、団体割引30%適用)

5

無料の健康・介護相談サービス (損保ジャパン日本興亜・アシスタント ダイヤル)をご利用いただけます！

3

議員・退職議員の皆さまのための制度です！

- 議会議員を退職後も、継続して加入できます。
- 議員の皆さまの配偶者も加入できます。
- 満79歳(保険始期日時点の満年齢)まで加入できます。

(注1) 日帰り入院とは、日帰り手術のため1日だけ入院と同一ような形で病室を使用した場合などのことをいい、「入院料」の支払いの有無で判断します。

(注2) 加入申込書および被保険者健康告知書の内容により、お引き受けをお断りしたり、お引き受けの条件を制限させていただくことがあります。

(注3) 本制度は保険期間の中途までのご加入はできません。

※このポスターは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。

【保険契約者】
全国町村議会議員互助会

【取扱代理店】
株式会社 まちむら
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議会館3階
TEL 03-3264-6830 FAX 03-3264-8308
(受付時間：平日の午前9時から午後5時まで)

【引受保険会社】
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
団体・公務開発部 第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-5408 FAX 03-6388-0162
(受付時間：平日の午前9時から午後5時まで)